

e-ラーニング

(第1回：2009年4月8日)

Rieko INABA



2009年度春学期:シラバス



- 科目名：e-ラーニング
- 担当者：稲葉利江子
- 開講コード：75404
- 開講日時：水曜日， 1講時（9:00-10:30）

成績評価

- 平常点（**出席**，小テスト，小レポートなど）：20%
- 期末レポート試験：50%
- 実習評価：30%

20分遅刻すると、欠席扱いになります
5回以上欠席すると、平常点は0！
（C以下の評価点になります）

e-learning?





「e-」+「learning」



「電子的な」



「学習」

メディアを活用した教育形態



1960年代：スライド, オーディオテープ, モノクロビデオ

1970年代：カラービデオ

1980年代：レーザーディスク,

CAI(Computer Aided Instruction)

1990年代：CD-ROM, DVD, WBT(WEB based Training)

2000年代：e-learning

e-learningの定義



■Rosenberg, 2000 (企業教育の専門家)

「**インターネット**を利用し、知識と能力向上のために多様な学習活動および学習資源を伝達する活動」

■Horton, 2001

「eラーニングとは**インターネットとデジタル技術**を利用して教育を行うこと」

■Cisco社 (e-learningシステムを効率的に業務に結びつけている)

「eラーニングは単にインターネットを使った訓練 (eトレーニング) ではない。eラーニングは教育, 情報, コミュニケーション, 訓練, 知識管理, そして運営管理を含むアンブレラ概念である。eラーニングは情報と知識を必要とする者がいつ、どこからでもそれにアクセスできるようにするウェブを基盤としたシステムである。」



eラーニングとは、学習者中心のフレキシブルでインタラクティブな環境の中で、情報や教授内容を伝達し、多様なスタイルの学習を支援するインターネットやデジタル技術を活用した学習システム

e-learningの特徴



- ① eラーニングでは、インターネットをはじめとしたICTを活用する
- ② eラーニングとは単にインターネットから提供される情報を指すのではなく、様々な学習活動までを含む幅広い概念である
- ③ eラーニングによって、時間や地理的条件などの制約を受けない、フレキシブルでインタラクティブな学習環境を提供できる
- ④ eラーニングは学習者中心の新しい教育パラダイムを実現する遠隔教育の一つの形態である
- ⑤ eラーニングは自学自習を促し、自立的な学習環境を提供するだけでなく、他の学習者との情報交換やインタラクティブなコミュニケーションを活性化させる
- ⑥ eラーニングは仕事と学習を総合的に結びつけることができる

e-learningの対象



- 企業内教育
 - ・日本でも大企業の70%近い普及
 - ・全社員強制教育や業務支援
- 学校教育（高等教育）
 - ・学習活動と情報システムの融合化
 - ・e-learningによる単位認定
- 生涯教育
 - ・インターネットを利用した学習
 - ・資格試験や英会話などの遠隔教育・自学学習 など

同志社大学のe-learning



同志社大学 / 在学生 - Windows Internet Explorer

同志社大学 在校生トップページ

同志社大学 Doshisha University

Google

ホーム | お問い合わせ先 | MAP・交通機関 | サイトマップ

大学紹介 | 教育(学部・大学院) | 研究活動 | 国際交流・留学 | 図書館 | キャリア形成支援・就職 | 産官学民連携・地域連携

同志社大学で学びたい方 | 学部入試 | 大学院入試 | 生涯学習 | **在学生** | 卒業生 | 一般の方

ホーム > 在学生

在学生

News @ Doshisha >> 在学生のニュースを見る

- 2009年度奨学金募集についてのご案内
- 「薬物に関する意識調査」について(お願い)
- 本学学生の大麻所持容疑による逮捕・起訴について
- 2009年3月卒業・修了予定の皆様
- 飲酒運転・未成年飲酒等の禁止について
- 薬物乱用の防止について
- 新町キャンパス 尋真館1階に学生ラウンジをオープンしました! [PDF] 04/03UP
- S-cube Net4月号(PDF版)を掲載しました 04/03UP
- 留学生のための日本語授業ボランティア募集!(4・5月) 04/03UP
- S-cubeNet4月号訂正のお知らせ「TOEFL-ITP」テストの受付日程と場所に修正があります。 04/03UP
- ローム記念館プロジェクトで そのやる気、カタチにしよう。 04/03UP

講演会・セミナー・イベント >> 一覧を見る

- ～新島の足跡を辿る旅～第27回函館キャンブ参加者募集します! 説明会も開催【4/20・22開催】 04/07UP [両校地]
- 【今週のチャペル・アワー】 4/8「京田辺」八田英二学長「水曜」水谷誠神学部長 04/06UP [両校地]

ActiveMail (Web mail)

科目担当者による授業講評

学修支援システム DUET

講義概要・シラバス

成績評価 (得点分布)

DOORS (蔵書検索)

e-class

インターネット授業

e-Learning

授業評価アンケート調査

全学共通教養教育科目

同志社大学のe-learning



同志社大学/e-Learning - Windows Internet Explorer

http://www

e-Learning型の英語の自習教材

同志社大学 Doshisha University

Google

ホーム お問い合わせ先 MAP・交通機関 サイトマップ

大学紹介 教育(学部・大学院) 研究活動 国際交流・留学 図書館 キャリア形成支援・就職 産官学民連携・地域連携

同志社大学で学びたい方 ▶ 学部入試 ▶ 大学院入試 ▶ 生涯学習 ▶ **在学生** ▶ 卒業生 ▶ 一般の方

ホーム > 在学生 > 授業・履修・試験 > e-Learning

在学生

e-Learning

授業・履修・試験

- 科目登録日程
- 授業時間等
- 授業教室
- 休講情報
- 試験等の種類と注意(レポート表紙・追試験願ダウンロード)
- 試験実施情報
- 学業成績
- 暴風警報発表時等の授業・試験の実施(司法研究科以外)
- 国内留学・単位互換
- GPA制度の導入について
- 外国語オナーズ(外国語科目成績優秀者表彰制度)
- 学則・一般内規
- ネットワーク利用資格認定試験
- パソコン利用者講習会
- プロジェクト科目

▶ e-Learning

同志社大学では、学生の自立的な学習を支援するため、自学自習教材を用意しています。

e-Learningで英語力アップ!

英語力アップに、新TOEICテストの対策に役立つようe-Learning型の英語の自習教材、NetAcademy2のスーパースタンダードコース/PowerWordsコース プラス を導入しました。**登録料・利用料は不要です!**

NetAcademy2は、両キャンパスのオープン利用環境スペースだけでなく、インターネット接続環境があれば、自宅からでもアクセスすることができます。申込方法など、詳細は下記をご覧ください。

対象者	同志社大学の学部生、大学院生 ※正規学生のみ
申込先	同志社大学のユーザーID、電子メールアドレスの取得が必要です。 (詳しくは こちら)
申込先	今出川校地 教務課(弘風館1階) 京田辺校地 教務事務センター(副業館1階) ※4月2日(木)より、随時、受付(事務室開室時間中)を行います。
申込方法	利用にあたっては、利用申請書の提出が必要です。上記、事務室に申請書を用意してありますので、必要事項を記入し、学生証を提示の上、提出してください。申請書は下記より、ダウンロードできます。

e-Learningの基盤プラットフォームとなる LMS(Learning Management System)として導入



The screenshot shows the homepage of the e-class LMS. At the top right, there is a link to the 'トップページへ' (Top Page). Below this, there are three small images of campus buildings. The main header features the 'e-class' logo and the text 'Doshisha e-Learning System'. The page is divided into several sections:

- LOGIN**: A large blue button with the word 'LOGIN' in white. To its right, text says 'e-classご利用の際は' followed by a blue square icon and 'Internet Explorer6' in red, with the instruction 'をお使い下さい。' (Please use it).
- e-classのご利用について**: A section titled 'e-classのご利用について' with a sub-heading '教員のみなさまへ' (For Faculty Only). The text explains that users need to follow certain procedures. Below this is a link for 'e-class利用申請書ダウンロード' (Download e-class Application Form) and a button labeled 'e-class 申請書ダウンロード'.
- e-class申請窓口**: A section titled 'e-class申請窓口' with a text box containing the email address 'ji-class@mail.doshisha.ac.jp (教務課内) までご提出下さい。' and a note: 'なお、申請後登録完了まで2~3日かかります。' (Note: It takes 2-3 days to complete registration after application).
- ムービー**: A section titled 'ムービー' (Movie) with text: 'e-classの機能や利用方法を映像でご説明いたします。Windows Media Playerをお持ちでない方はこちらからダウンロードしてご覧下さい。' (We will explain the features and usage of e-class in a video. If you do not have Windows Media Player, please download it from here and watch it). There is a 'Windows Media Player 11 FREE' logo. Below the text are links for '申請方法 (1分20秒)' (Application Method (1:20)) and '教材作成—資料編 (1分46秒)' (Material Creation—Reference (1:46)).
- 機能別マニュアル**: A section titled '機能別マニュアル' (Manual by Function) with the text: '教員用の操作マニュアルです。e-class導入の際にご参考にして下さい。' (This is a manual for faculty operations. Please refer to it when introducing e-class). Below this is a list of manuals with their sizes: '教材管理:資料 (110KB)', '教材管理:テスト (342KB)', '教材管理:レポート (557KB)', '教材管理:アンケート (1.74MB)', '成績管理:テスト (210KB)', '成績管理:レポート (4.18MB)', '成績管理:アンケート (201KB)', and '成績管理:出欠 (185KB)'. There is also a link for 'Do!Faculty'.
- お問合せ窓口**: A section titled 'お問合せ窓口' (Inquiry Window) with the text: 'e-class@mail.doshisha.ac.jp 本システムの操作など、ご利用にあたってのお問合せ・ご意見につきましては、e-class管理者(上記メールアドレス)までお問合せ下さい。ま' (For inquiries about the operation of this system, etc., or for your comments, please contact the e-class administrator (the email address above) at e-class@mail.doshisha.ac.jp).

e-classで何ができる？

- 授業担当教員から受講生への教材の提示
- レポート, テスト, アンケートの実施
- 掲示板 (BBS) などを用いた受講生と教員とのコミュニケーション



インターネット授業



同志社大学 / インターネット授業 - Windows Internet Explorer

http://www1.doshisha.ac.jp/~media/inet/index.html

同志社大学 / インターネット授業

同志社大学

communication software network

Classes on the internet

このサイトでは、インターネット授業に関する情報をお届けしています。

開講科目一覧

- はじめてご利用の方へ
- はじめてのインターネット授業
- インターネット授業とは?
- 受講に必要な機器・環境
- 受講手続き
- インターネット用語集
- インターネット授業を受講中の方へ
 - e-class
 - RealPlayerの設定
 - 視聴テスト
 - トラブルシューティング

インターネット授業とは?

インターネット上のストリーミングビデオサーバよりオンデマンド配信される動画、静止画、テキストコンテンツおよびeラーニングシステム[e-class]を組み合わせた学習システムで、本学では正式な単位を与える科目として2001年度から開講しています。

視聴に必要なプラグイン

RealPlayer

RealPlayerダウンロードページへ

インターネット授業を視聴するにはRealPlayer [最新版] または RealOnePlayer, RealPlayer 8 がインストールされている必要があります。RealPlayerPlusは有料版、RealPlayerは無料版です。Real Player(無料版)でご覧いただけます。RealPlayer, RealPlayer, RealPlayerPlus, RealPlayer8, RealVideoはRealNetworks, Inc.の商標または登録商標です。

RealPlayerのインストール方法や各種設定の方法

RealPlayerの動作環境

WHAT'S NEW

- 2009/3/27
2009年度のインターネット授業開講科目を掲載しました。

CONTENT'S NEWS

- (春学期) 全学共通**
建学の精神とキリスト教-501 担当:小原克博
この科目では、同志社がどういった経緯で、どういった人たちに、また何を目的として創立されたかを学びます。
- (春学期) 経済学部**
ITハードウェア論-501 担当:高井才明
この講義の目的は、社会科学を専攻する学生の皆さんに、コンピュータとその利用についての基礎知識を修得してもらうことにあります。
- (春学期) 理工学部**

インターネット授業



- インターネット上のストリーミングビデオサーバよりオンデマンド配信される動画、静止画、テキストコンテンツおよびeラーニングシステム[e-class]を組み合わせた学習システム.
- インターネット授業登録者は、教室での授業は一切ない.
- インターネットにアクセスできる環境があれば、いつでも、どこでも、好きな時間に学習できる.
- 同志社大では、2001年度から開講され、**単位認定**されている.

OpenCourse Ware



The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying <http://opencourse.doshisha.ac.jp/>. The browser title is "同志社大学 オープンコースウェア - Windows Internet Explorer". The website header includes the Doshisha University logo and the text "同志社大学 DOSHISHA UNIVERSITY OPENCOURSEWARE" with an "English" language selector. Below the header is a large banner image of a university building with the text "DOSHIHA UNIVERSITY OPENCOURSEWARE". A navigation menu contains four items: "同志社大学オープンコースプロジェクトについて", "同志社大学オープンコースウェアご利用にあたって", "同志社大学オープンコースウェアの活用方法", and "ご意見". The main content area features a sidebar with a list of departments and a central section titled "同志社大学オープンコースウェアについて". The sidebar lists: 神学部, 文学部, 社会学部, 法学部, 経済学部, 商学部, 政策学部, 文化情報学部, 理工学部, 言語文化教育研究センター, and 全学共通教養教育センター. The central section contains the following text:

同志社大学オープンコースウェアは、同志社大学オープンコースプロジェクトの一環として、本学の授業で実際に使用されている教材をインターネット上で公開しています。ここで公開する教材が、本学学生のみならず、教職員はもとより、同志社大学で学びたい方、本学にご関心をお持ちの方、その他広く一般の方々にも様々な形で活用していただけることを願っています。

授業で使用された教材を公開する「オープンコースウェア」(OCW)の活動には、国内外の多数の高等教育機関が取り組んでいます。同志社大学は、OCWに取り組む国内の大学等が加盟する「日本オープンコースウェア・コンソーシアム」(JOCW)に参加しています。同志社大学オープンコースウェアへは、[JOCW](#)を通じて、OCWの国際的な活動組織である「[オープンコースウェア・コンソーシアム](#)」(OCWC)からもアクセスしていただけます。

2009年4月7日

MIT OpenCourse Ware



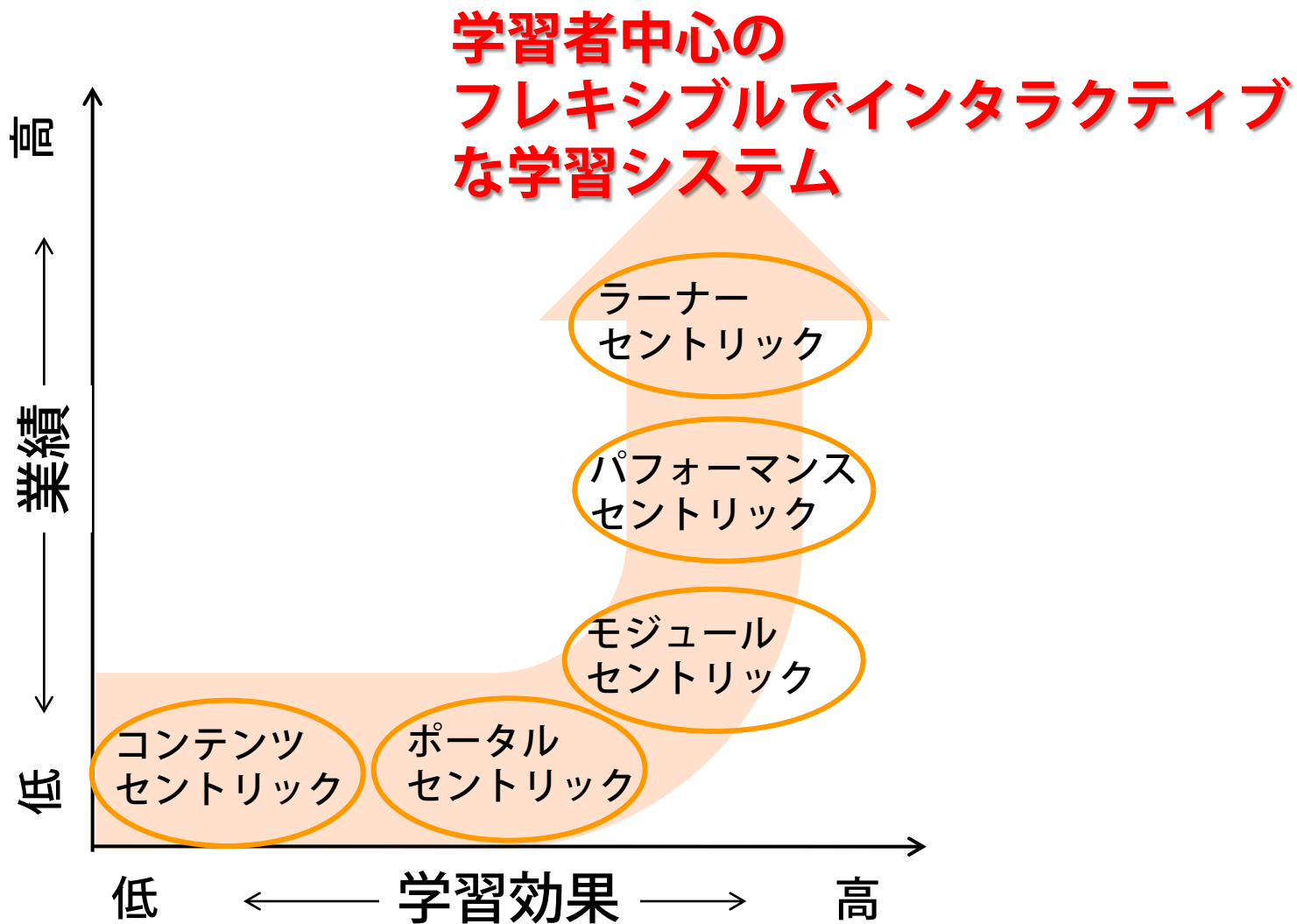
The screenshot shows the MIT OpenCourseWare website in a Windows Internet Explorer browser window. The browser title is "Free Online Course Materials | MIT OpenCourseWare - Windows Internet Explorer". The address bar shows the URL "http://ocw.mit.edu/OcwWeb/web/home/home/index.htm". The website header includes the MIT logo and the text "MIT OPEN COURSEWARE MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGY". The navigation menu includes "Home", "Courses", "Donate", "About OCW", "Help", and "Contact Us". A search bar is located on the right side of the navigation menu. The main content area features a large banner for "Unlocking Knowledge, Empowering Minds." with a photo of Shirley Harrell, an Educator from the United States. The banner text reads: "Free lecture notes, exams, and videos from MIT. No registration required." and includes a "Learn more" link. To the right of the banner is a quote: "It's an important way to ensure the quality of my courses." attributed to Shirley Harrell, with a "Read more" link. Below the banner is a "FEATURED COURSE" section for "The Beeline Festival" with a photo of a bee and text describing the festival. To the right of the featured course is a "SUPPORT OCW" section with a "DONATE NOW" button. The footer of the page mentions "OCW is grateful for the support of: Ab Initio and OpenCourseWare: Built on fundamentals".



OCWとは？

- OCWとは**大学等で正規に提供された講義とその関連情報のインターネット上での無償公開**する活動。
- MITが2001年から取り組みはじめた（全1800コースが完全公開）。また、OCWを世界中の多くの高等教育機関が連携して取り組むことを積極的に働きかけ、国際コンソーシアムも設立されている。
- 「正規に提供された講義」とは、**大学、大学院に在籍している学生の単位取得の対象として実施された講義**のこと。基本的に学期単位あるいは通年単位のコースとして提供されたもの。
- 「**知の集積拠点**」である大学等がその蓄積された知の典型的な体系化された情報である「講義」の公開を通じて一層の社会貢献を目指していこうということを基本的な狙いとした取り組み。

e-learningの目標





■ 目的

従来から教育に用いられていたメディアでなく、
先端的な電子メディアを使った学習システムを学ぶ

■ 方法

- 各種の先端的な電子メディアの利点, 欠点, 適正を学ぶ
- 先端的な電子メディアを使った学習システムに関して,
様々な実例を踏まえながら学ぶ
- 学習を支援する情報システムについて, 設計, 管理, 運用
する方法を実例を通して学ぶ

2009年度春学期:シラバス



第1回：4月8日	e-learningの定義, 基礎
第2回：4月15日	e-learningを支えるテクノロジー (1)
第3回：4月22日	e-learningを支えるテクノロジー (2)
第4回：5月13日	e-learningを支えるテクノロジー (3)
第5回：5月20日	e-learningを支えるテクノロジー (4)
第6回：5月27日	e-learningの実例－国内の動向－
第7回：6月3日	e-learningの実例－海外の動向－
第8回：6月10日	e-learningの実例－国際間交流の動向－
第9回：6月17日	e-learningと教授法
第10回：6月24日	e-learningとセキュリティ
第11回：7月1日	教材制作演習(1)
第12回：7月8日	教材制作演習(2)
第13回：7月15日	教材制作演習(3)
第14回：7月22日	演習の評価, まとめ

注意！
教室はMK101

参考書



岡本敏雄他、 eラーニングの理論と実際 システム技術から、教え・学び、ビジネスとの統合まで



ISBN:
4-621-07484-9

参考書



鄭仁星他 遠隔教育とeラーニング



ISBN:
4-7628-2487-9



■まじめに、受講したい学生の邪魔をしない

- ・私語禁止
- ・入室後、入室禁止

■携帯電話の電源を切ってください



- 平常点（**出席**，小テスト，小レポートなど）：20%
- 期末レポート試験：50%
- 実習評価：30%

20分遅刻すると、欠席扱いになります
5回以上欠席すると、平常点は0！
（C以下の評価点になります）



来週の教室は

MK101

今日の小レポート



- この授業に望むこと
- 質問等

問い合わせ先：rieko.inaba@nict.go.jp

来週の教室は
MK101
